

## 1 グループホームの整備数の考え方

- 過去6年のグループホームは、認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱの者の3～4%、日常生活自立度Ⅲ以上の者の5%が利用している。
- 認知症高齢者は、今後も増加することが予測され、2035年に需要のピークを迎えることが想定される。

〔グループホーム入所者の推移と推計〕

(各年4月1日現在)

		年度	実績					
			2018	2019	2020	2021	2022	2023
日常生活自立度	自立度Ⅱ	人数	4,776	5,141	5,259	5,421	5,628	5,698
		グループホームの利用者	160	163	189	196	229	249
		利用割合	3.4%	3.2%	3.6%	3.6%	4.1%	4.4%
	自立度Ⅲ	人数	2,482	2,436	2,265	2,184	2,174	2,132
		グループホームの利用者	131	132	120	114	105	108
		利用割合	5.3%	5.4%	5.3%	5.2%	4.8%	5.1%
グループホームの利用者合計			261	295	309	310	334	357

		年度	推計					
			2024	2025	2026	2030	2035	2040
人数			5,743	5,909	6,035	6,624	6,870	6,608
グループホームの利用者			253	260	266	291	302	291
人数			2,234	2,296	2,350	2,588	2,742	2,706
グループホームの利用者			114	117	120	132	140	138
グループホームの利用者合計			367	377	386	423	442	429
過不足			-10	-20	-29	-66	-85	-72

2035年のピーク時の不足数を補うためには、3施設の整備が必要となる。

ピーク時の不足数 1施設の利用定員 整備が必要な施設数 整備計画

$$85人 \div 27人 = 3.15 \div 3施設 \rightarrow 3施設$$

## 2 小規模特別養護老人ホームの整備数の考え方

- 過去10年の特別養護老人ホームの利用状況は、要介護3～5の認定者の21～24%程度で推移しており、待機者は減少傾向にある。
- 今後も同様の傾向が続くと、要介護3～5の認定者の増加に伴い、2035年に需要のピークを迎えることが想定される。

〔特別養護老人ホーム利用者の推移と推計〕

(各年4月1日現在)

		実績									
		2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
要介護3～5の認定者		3,592	3,740	4,208	3,926	4,252	4,403	4,454	4,525	4,725	4,644
特別養護老人ホーム利用者		757	836	871	948	1,027	1,059	1,081	1,093	1,107	1,107
待機者(愛知県集計)		309			302			163			99
利用割合		21.1%	22.4%	20.7%	24.1%	24.2%	24.1%	24.3%	24.2%	23.4%	23.8%

平均 23.9%

		年度	推計					
			2024	2025	2026	2030	2035	2040
要介護3～5の認定者			4,744	4,879	4,996	5,500	5,833	5,758
特別養護老人ホーム利用者			1,134	1,166	1,194	1,315	1,394	1,376
過不足			-27	-59	-87	-208	-287	-269

2035年のピーク時の不足数を補うためには、10施設の整備が必要となるが、住宅型有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅の整備も進んでおり、特養利用希望者の受け皿として機能している状況を考慮し、7施設の整備をめざす。

ピーク時の不足数 1施設の利用定員 整備が必要な施設数 住宅型有料老人ホーム サービス付き高齢者住宅の整備を考慮 整備計画

$$287人 \div 29人 = 9.89 \div 10施設 \rightarrow 7施設$$